

登山の実施結果について(令和4年4月1日～令和4年12月31日)

【山岳部】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日(始期)	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例				
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言	
1	大田原高等学校	新歓山行	ミツモチ山(矢板市)	令和4年5月3日	1日(日帰り)	14名	3名 高梨和幸 片柳剛史 鈴木長生	学校(6:30)・・・県民の森登山口(7:40)・・・第二展望台(8:30)・・・ミツモチ山山頂(9:30)・・・八海山神社(10:40)・・・昼食・出発(11:30)・・・大間々大駐車場(12:00)・・・学校(13:50)	1名	なし	第6号	晴れ 0cm	4/23(土)に県民の森でオリエンテーリングを実施した。その際、読図やコンパス実習等を行っている。県民の森を出発地点にすることにより、装備品の準備や行程はイメージしやすかったと思う。1年生は初めての山歩きであったため、小休憩を多くした。また、2、3年生の山域調査・測定の様子を確認し、大高の山行の雰囲気や学べたと思ふ。また、2、3年生(山行隊)と1年生(散策隊)に分かれた後は、全員にトランシーバーを使ってもらい、機器の操作を学んだ。今回の活動もOB会による支援をいただいた(OB会が後方に同行)。OB会等の紹介を行い、多くの方々の協力によって活動ができることを確認して、山行を開始した。	①先頭から後部まで指示の伝達がうまくできなかった。 ②厚くて長い靴下を家に忘れてしまった。 ③前と後ろの人との間隔が狭く、ぶつかりそうになった。 ④前日に雨が降ったのでぬかるんでいるところがあり滑った。 ⑤ザックに荷物を詰めすぎでしまい、開けるときに大変だった。 ⑥標高が高くなると結構寒くなった(防寒着を多めに持っていきほうが良い)。 ⑦調理中は問題なかったが、片付けのとき、コンロを触って軽い火傷した。	①八海山神社以外はすべて車道のため、パーティの人数制限がない。そのため、1年生から3年生まで14名で歩くことになったが、1年生は初めての活動であり、また、久々の大所帯のため、指示の伝達で遅かった。(「前方から登山者有り、右に寄れ」など) ②～⑦は1年生によるヒヤリハットで、山行に不慣れなことが要因と考えられる。	日々の練習の中で意識することが大切である。また、ヒヤリハットはTeamsに入力してまとめている。入力時に他人の入力が見えるため、山行直後にICTを用いて情報共有することが有効である。	【問題なし】	
2	栃木高等学校	大小山登山	大小山(足利市)	令和4年5月3日	1日(日帰り)	1名	2名 高野友博 加藤良栄	阿夫利神社(8:45)・・・妙義山東分岐(9:20)・・・西場富士(10:20)・・・阿夫利神社(10:55)・・・大小山南分岐(11:35)・・・妙義山山頂(11:55)・・・妙義山東分岐(12:20)・・・阿夫利神社(12:50)	2名	登山ガイド ステージⅡ	第2号	晴れ 0cm	岩場や鎖場では、アドバイザーの助言・アドバイスをもらいながら、特に慎重に行動した。	イノシシ除けの柵が設置されている山で、途中、動物の糞を発見した。また、熊注意の看板もあり動物遭遇するような山域であった。	登山口が比較的、畑地であるため、動物の出没があるとする。	こまめにホイッスルを鳴らしたり、クマよけの鈴の携帯をする。	【問題なし】	
3	栃木女子高等学校	岩場通過トレーニング登山	大小山(足利市)	令和4年5月3日	1日(日帰り)	10名	4名 高橋秀明 小椋康裕 竹前陸 池間明徳	阿夫利神社8:25・・・妙義山東分岐9:00・・・西場富士10:00・・・阿夫利神社10:35・・・大小山南分岐11:15・・・妙義山山頂11:35・・・妙義山東分岐12:00・・・阿夫利神社12:30	2名	両名とも 日本スポーツ協会公認 山岳コーチ2	両名とも 第2号 第6号	晴れ 0cm	岩場の急斜面を通過する際は、引率やアドバイザーが分散して、注意喚起や助言を行った。	JR富田駅から阿夫利神社へ徒歩で移動し、予定では8:00前に集合できるはずだったが、20分ほど遅くなってしまった。	事前に経路等確認していたが、初めてということもあり、登山道よりも住宅街の通過に時間がかかってしまった。	電車を1本早くするなどして時間を確保し、登山活動以外でも余裕ある行動ができるようにする。急ぐと交通事故の危険性が増すため、少しの遅れは想定内であるという認識を共有しておく。	【問題なし】	
4	宇都宮白楊高等学校	春山登山	太平洋・晃石山(栃木市)	令和4年5月4日	1日(日帰り)	6名	2名 宇戸平友博 安江彩子	JR宇都宮駅(8:05)・・・JR太平下駅(9:00)・・・太平洋登山口(9:25)・・・謙信平(9:55)・・・太平洋山頂(10:50)・・・晃石山山頂(11:40)・・・大中寺(13:00)・・・JR太平下駅(13:40)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第6号	晴れ 0cm	生徒にとって久しぶりの登山であったため、ペース配分と体調をよく確認しながら取り組んだ。	生徒1名が当日朝、集合場所のJR宇都宮駅に現れなかった。本人の携帯電話に連絡しても繋がらず、保護者に確認したところ家は出発したとのことであった。時間になっても来なかったため、その他の部員は乗車を指示して現地へ向かわせた。9時00分頃本人から連絡があり、集合場所に行ったが待ち合わせ場所を間違えており、携帯電話もバッテリーがなかったとのことであった。本人の不手際でもあるため、今回の登山には参加させず辞退させた。	前日に入念な荷物チェックを行い、当日持参するものとして昼食や登山靴、そしてスマートフォンも指示していたが、本人の自覚が足りていなかった。スマートフォンは現代の登山において連絡手段や天気、読図等でマストアイテムであり、そうした教育をしていってもりであったが、指導が甘かった。	該当生徒は昨年度も登山実施前に登山靴を購入することができず、登山を断念させたことがある。生活習慣の指導とともに、山に対する認識を高める必要がある。また、こうした例を部内で共有し、同様なことが起こらないようにしていく必要がある。	【問題なし】	
5	宇都宮白楊高等学校	春山登山	太平洋・晃石山(栃木市)	令和4年5月7日	1日(日帰り)	7名	2名 宇戸平友博 宇賀神瑞季	JR宇都宮駅(8:05)・・・JR太平下駅(9:00)・・・太平洋登山口(9:25)・・・謙信平(9:50)・・・太平洋山頂(10:40)・・・晃石山山頂(11:20)・・・大中寺(12:50)・・・JR太平下駅(13:40)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第6号	曇り 0cm	生徒にとって久しぶりの登山であったため、ペース配分と体調をよく確認しながら取り組んだ。	特になし	特になし	特になし	【問題なし】	
6	大田原高等学校	令和4年度春山山行	釈迦ヶ岳(矢板市)	令和4年5月28日	1日(日帰り)	14名 (3年生2名 2年生4名)	2名 高梨和幸 片柳剛史 鈴木長生	学校(6:10)・・・エーデルワイススキー場(7:30)・・・井天池(8:50)・・・鶏嶺山(9:30)・・・塩原コース分岐(10:20)・・・釈迦ヶ岳・昼食(10:50～11:50)・・・塩原コース分岐(12:20)・・・ゴンドラトップ(13:50)・・・ハンターマウンテン(14:30)・・・学校(16:00)	1名	なし	第6号	晴れ 0cm	計画では明神岳を通過する予定だったが、計画の時間よりやや遅れていたことや1年生との合流を控えていたため、明神岳付近の木道からゴンドラトップにルートを変え、下山を短縮した。 ヒヤリハット事例は、生徒個人ごとにTeamsを利用して山行(実習)の度に入力し、共有している。4/23日の県民の森のオリエンテーリング実習時にヘビと遭遇したということ踏まえ、ヘビについて事前に学習し、今回のヘビ遭遇に慌てず対応することができた。	①ぬかるみで滑った。 ②木の根で固まった土の足場が崩れ転んだ。 ③急な斜面を下るときに止まりにくかった。 ④鹿やヘビがいた。ヘビはおそらくアオダイショウ。 ⑤単眼鏡の使い方を忘れて、先輩に確認して思い出した。 ⑥無線機を二回落とした。	①～③の主な要因は前日の雨によるところが大きい。 ④～⑥はスキー場で実習をしていた1年生隊によるものである。	①～③は安全を意識した登山の経験と日々の練習により培われる。今後も意識をもって臨む。 ④については、事前に画像をみながらヘビについての学習を行っていたことがあり、毒蛇かどうかの判断もでき、慌てず対応できた。 ⑤については、ポケットに入れ、かつクリップで挟むなど、落下に対する防止策を助言した。	【問題なし】	
7	宇都宮白楊高等学校	春山登山	朝日岳・茶臼岳(那須町)	令和4年5月29日	1日(日帰り)	5名	2名 宇戸平友博 安江彩子	JR宇都宮駅(6:58)・・・JR那須塩原駅(7:44)・・・那須ロープウェイ山麓駅(9:25)・・・峠の茶屋・登山口(9:40)・・・峠の茶屋跡避難小屋(10:25)・・・峠の茶屋・登山口(11:20)・・・那須ロープウェイ山麓駅(11:30)・・・殺生石(12:35)・・・JR那須塩原駅(14:30)・・・JR宇都宮駅(15:18)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第6号	晴れ 0cm	天気は晴れで気温も暑くなり過ぎていなかったが、風が強かった。特に、中の茶屋跡を通過した後から、向かい風が強かったためその都度進行をストップし、風が落ち着いたタイミングを見計らって峠の茶屋跡避難小屋まで進んだ。当初の予定では、峠の茶屋通過後は朝日岳・茶臼岳への登頂を予定していたが、登山アドバイザーと協議し、この先の登山道は狭まる箇所もあるため、安全を配慮して撤退の判断に至り、避難小屋で風の状況を見ながら来た登山道を折り返すようにした。生徒には強風時の対応の仕方や防寒対策を徹底するよう指示をした。無事、那須ロープウェイ山麓駅まで下山を完了し、生徒の体調等にも影響はなかった。当初の予定よりも早い時間で下山となったため、バスを途中下車し殺生石や温泉神社などの地域の探索を行い、帰路に着いた。	登山中の強風への対応	那須連山は地形的にも強い風が吹きやすい場所である。天気や気温等は週間予報等で1週間前から推測することができるが、風速に関しては情報が入るのが登山予定日の直前となってしまうことや現場に行ってみないとわからない点も多い。	今回の登山では、随時登山ガイドと相談しながら進行、撤退の判断に至ったが、那須連山に関しては風の影響を受けやすいため風速0m以上は登山を中止するという明確な基準があっても良いと感じた。そのため、天気が悪くても風の影響で予定を変更することも考慮しての柔軟な代替日の設定も検討すべきである。	風速15km/hを目安にアドバイザーと相談判断すること。	【問題なし】
8	栃木高等学校	刈込湖切込湖山王峠登山	刈込湖切込湖山王峠(日光市)	令和4年6月11日	1日(日帰り)	1名	2名 高野友博 加藤良栄	湯元(9:15)・・・小峠(9:45)・・・刈込湖(10:15)・・・瀧沼(11:30)・・・山王峠(12:05)・・・光徳牧場(13:05)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第2号	曇りのち雨 0cm	木道では滑らないように、慎重に行動した。	入山道入り口から10分歩いた登山道の真ん中で、その日死んだと思われる鹿の死体を確認した。	もともと戦場ヶ原付近には鹿の生息が確認されている。	こまめにホイッスルを鳴らしたり、クマよけの鈴の携帯をする。	【問題なし】	
9	大田原高等学校	初夏山行	茶臼岳(那須町)	令和4年6月18日	1日(日帰り)	7名 (3年生2名 1年生5名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	那須ファミリースキー場跡集合・慰霊(7:00)・・・スキー場跡出発(7:15)・・・休暇村分岐(7:30)・・・牛ヶ首(9:20)・・・峠の茶屋跡分岐(9:40)・・・茶臼岳・昼食(10:00～11:00)・・・峠の茶屋跡(11:30)・・・やまびこkokoshat(11:40)・・・峠の茶屋(12:10)	1名	なし	第6号	晴れ・曇り 0cm	初めての本格的な登山という生徒も多かったため、下見を踏まえてのルート上の注意点を共有しておいた。また、当日までの数日間の天気やぐずっていたため雨への備えを十分に行っていた。ただし、当日は良い天気にも恵まれた。	①注意喚起のリレーが十分にできていなかった。 ②木の枝等に頭をぶつけた。 ③ヘビに遭遇した。	①については、1年生が初の登山、または集団での登山が初めての生徒が多く、パーティの先頭から後方への注意喚起のリレーができていなかった。 ②は、リレーの不慣れとともに、登山道が笹や枯れ木などが多く、あまり手入れがされていない登山道だったことも影響している。 ③については、事前に対処法を共有しておいたので、特に問題はなかった。	引率者や3年生の指導もあり、中盤は注意喚起のリレーができるようになってきた。②については登山の経験が積みながら意識を高めていくことが重要。	【問題なし】	

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日(始期)	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			積雪量(下段)	具体的内容	背景要因	改善策
10	大田原高等学校	初夏山行	茶臼岳(那須町)	令和4年6月19日	1日(日帰り)	7名(2年生5名1年生2名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	那須ファミリースキー場跡集合・慰霊(7:05)・・・スキー場跡出発(7:25)・・・休暇村分岐(7:45)・・・牛ヶ首(9:30)・・・峰の茶屋跡分岐(9:55)・・・茶臼岳(10:20～10:25)・・・茶臼岳-峰の茶屋中間点で昼食(10:40～11:30)・・・峰の茶屋跡(11:40)・・・やまびこkokoshat(11:55)・・・峠の茶屋(12:15)	1名	なし	第6号	晴れ・曇り 0cm	初めての本格的な登山という生徒も多かったため、下見を踏まえてのルート上の注意点を共有しておいた。また、当日までの数日間の天気がぐずっていたため雨への備えを十分に行っていた。ただし、当日は良い天気に恵まれた。	①注意喚起のリレーが十分にできていなかった。 ②世の跳ね返りに当たったり、木の枝等に頭をぶつけた。 ③茶臼岳山頂は晴れ間もあったが、雲行きが怪しく、携行した雷検知機がなったため雨への備えを十分にしていた。ただし、当日は良い天気に恵まれた。	①については、1年生が初の登山、または集団での登山が初めての生徒が多く、パーティーの先頭から後方への注意喚起のリレーができていなかった。②は、リレーの不慣れとともに、登山道が笹や枯れ木などが多い、あまり手入れがされていない登山道だったことも影響している。	中盤は注意喚起のリレーができるようになってきた。②については登山の経験を積みながら意識を高めていくことが重要。③は、登山アドバイザーと協議し、山頂を少し降りてからの昼食をした。	【問題なし】
11	栃木女子高等学校	令和4年度岩場通過トレーニング登山②	大小山(足利市)	令和4年6月18日	1日(日帰り)	α5、β5(それぞれ3年生3名2年生2名)	α2名 高橋秀明 池間明徳 β2名 小椋康裕 森戸重臣	阿夫利神社(8:10)・・・妙義山東分岐(8:40)・・・西場富士(9:40)・・・阿夫利神社(10:30)・・・大小山南分岐(11:15)・・・妙義山頂(11:30)・・・妙義山東分岐(12:00)・・・阿夫利神社(12:30)	α1名 β1名	両名とも 日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	両名とも 第2号 第6号	曇り 0cm	岩場の急斜面を通過する際は、引率やアドバイザーが分散して、注意喚起や助言を行った。熱中症対策として、水分や塩分を多めに持たせ、小休止した際などに意識して摂取させた。前回の反省を活かし、電車を1本早くするなどして予定時刻前に集合した結果、余裕ある行動につながった。	なし	なし	なし	【問題なし】
12	宇都宮高等学校	令和4年度新入部員歓迎登山	茶ノ木平～細尾峠～薬師岳～地藏岳(日光市・鹿沼市)	令和4年6月19日	1日(日帰り)	8名	4名 湯澤真一 富永孝昭 今井和彦 大和田哲也	学校(7:00)・・・茶ノ木平登山口(9:20)・・・茶ノ木平(10:00)・・・細尾峠(11:30)・・・薬師岳山頂(12:15)・・・三ツ目(13:40)・・・地藏岳山頂(14:00)・・・古峯神社駐車場(15:45)・・・学校(17:25)	2名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1 日本スポーツ協会公認 山岳コーチ2	第6号 第2号	晴れ時々曇り 一時小雨 0cm	日中は、高温になることが予想されたので、休憩時間を行動1時間につき10～15分間取ることで、水分補給についても具体的に150cc以上は飲み、持参した水分は下山までには飲みきるような計画的補給を指示した。午後は天気の急変も予想されたので、雨具を取り出しやすいところにバックキングしておくよう出発前に指示した。	なし(登山後の講評で、帯同してもらった2名のアドバイザーからは、上級生および新入部員の登山行動について特に指摘することなく、普段の訓練やトレーニングの成果が現れており、危なげな点はなかったとの言葉をいただいた。)	なし	【問題なし】	
13	宇都宮白楊高等学校	夏山登山	朝日岳・茶臼岳(那須町)	令和4年7月2日	1日(日帰り)	6名	2名 宇戸平友博 齋藤靖弘	JR宇都宮駅(6:57)・・・JR那須塩原駅(7:45)・・・那須ロープウェイ山麓駅(9:17)・・・峠の茶屋(登山口)(10:05)・・・峰の茶屋跡(10:50)・・・朝日岳山頂(12:00)・・・峰の茶屋(13:00)・・・茶臼岳(13:55)・・・那須ロープウェイ山頂駅(14:25)・・・那須ロープウェイ山麓駅(14:45)・・・JR那須塩原駅(16:40)・・・JR宇都宮駅(17:42)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ2	第6号	晴れ 0mm	例年よりも梅雨明けが早く、連日猛暑が続いていたため、熱中症に細心の考慮をした。WBGT計を定期的確認し、こまめに水分および塩分・糖分を補給させた。WBGT計も危険レベルに達することなく、生徒の体調も良好であった。	現地合流であった副顧問の齋藤先生が待ち合わせ時間になっても来ず、電話も繋がらず状況がわからず生徒と待機することとした。その後、合流でき、予定出発時刻よりも20分遅れたの出発となった。また、宇戸平の携帯から管理職に連絡してもつながらず、生徒の携帯電話を借りて連絡した。	想定よりも観光客が多く、那須ロープウェイ山麓駅付近の駐車場が混雑しており、大丸駐車場に車を停めることにし、そこからロープウェイ駅に向かうことになったため集合時間から遅れてしまった。また、連絡が繋がらなかったのはauの電波障害があり、宇戸平及び齋藤先生もau社の携帯電話であったため使用不可能な状態であった。(auの携帯に電波障害が起こっていたことは現地で知った)。終日、電波障害は改善されず、本部への連絡は生徒が所有しているdocomo社の携帯電話を借りて連絡を取った。	5月28日に那須登山をした際は駐車場にゆとりがあったため、ここまでの混雑を予想していなかったためtwitter等で発信している混雑情報を事前に確認しておくべきであった。電波障害については想定外のトラブルであり、防ぎようのない事態であったが、顧問の所有するスマートフォンの携帯メーカーのみならず、同行する部員の所有する携帯メーカーも把握しておくことが一歩の場合も対応しやすくなると思われる。	【問題なし】
14	宇都宮白楊高等学校	夏山登山	高原山(矢板市・塩谷町)	令和4年7月9日	1日(日帰り)	5名	2名 宇戸平友博 宇賀神瑞季	宇都宮白楊高校(6:00)・・・大間々台駐車場・登山口(7:30着 7:35発)・・・八海山神社(8:20)・・・高原山山頂(10:10着10:35発)・・・八海山神社(12:10)・・・大間々台駐車場(13:10)・・・宇都宮白楊高校(15:15)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第6号	曇り 0mm	登山実施日前に発生した台風4号の影響で、予報が不安定であったが、こまめに天気予報を確認し、7月6日に9日の登山決行を断念した。当日は終始曇り模様で所々ガスっていたが、行動可能な範囲であった。終始曇っていたこともあり、前週のような酷暑となることもなく、生徒たちも快調に行動できていた。	下山中の八海山神社～大間々台駐車場に向かう地点にて副顧問が転倒し、岩に足がぶつかる事案が発生した。幸いにも擦り傷程度で済んだが、打ち所が悪ければ大けがにつながる可能性があった。	後から追いついてきた他パーティー(15名ほど)がかなりのハイペースで下山をしてきており、本校のパーティーの真後ろにつかかちとなった。道幅にも余裕がなかったため、最後尾に追いついた登山アドバイザーから「追いついてもらおう」という指示があり、本校のパーティーは一旦停止することになった。下山間際の疲労の蓄積や立ち止まることになったこと、他パーティーからのプレッシャーもあり、足が疲れてしまったことが考えられる。	今回の登山において最も疲労の様子が見られたのがパーティーで唯一の女性である副顧問であった。そのため、様子を確認しながら下山中も無理のないペースを心掛けていたが転倒する事案が発生してしまった。他パーティーが追ってきていることもわかってきたため、プレッシャーがかかる前に先頭をしていく余裕をもって停止できるようにすればよかった。また、他パーティーからのプレッシャーもあり、足が疲れてしまったことが考えられる。部員等にも共通理解を図りたい。	【問題なし】
15	大田原高等学校	夏山山行	三本槍岳(那須町)	令和4年7月9日	1日(日帰り)	6名(3年生1名2年生2名1年生3名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	学校出発(5:45) == 北温泉駐車場着(6:50)・・・北温泉出発(6:55)・・・マウントジーンズスキー場分岐(8:05)・・・中の大倉尾根終盤(8:45)・・・生徒1名が腹痛を起こし、約30分休憩・・・下山開始(9:20)・・・Mtジーンズスキー場分岐(9:55)・・・マウントジーンズゴンドラトップで実習・昼食(10:05～11:30)・・・北温泉着(12:10)・・・温泉入浴後出発(13:00) == 学校着(14:45)	1名	なし	第6号	晴れ・曇り 0cm	この日は曇りで昼過ぎから下り坂の予報だったため、前日に、早め早めの行動がとれるように周知していた。生徒の体調も問題なかったため、予定通り山行を開始した。いつも通り、測定を行いながら順調に山行を行っていたが、中の大倉尾根の終盤にさしかかったところで、1年生が腹痛を訴えてきた。薬を飲み、30分程度様子を見たところ、痛みは軽減されていたが、大事をとって下山することにした。帰路の予定ではスキー場分岐から登山道を通って下山することになっていたが、マウントジーンズのゴンドラトップに立ち寄り、昼食休憩をとることにした(トイレ等の施設も使用できるため)。また、生徒の体調も回復していたようなので、登山アドバイザーからロープワークの実習を受けて下山した。	①腹痛を起こした生徒がいた。 ②ザックカバーの保管場所を忘れた。 ③ヘビ(シマヘビ)がいた。以前にヘビの種類や対処に対する学習をしていたため、慌てずに対応できた。	①について、山行終了後に体調を確認すると回復していた。原因について聞いてみたがよくわからないとのことだった。1年生で、まだ登山になれていないのかもしれない。 ②について、1年生で、まだ荷物の整理方法に慣れていないため。 ③中の大倉尾根は石を金網で組んだ登山道になっており、ヘビの住みやすい場所である。	【問題なし】	
16	大田原高等学校	夏山山行	三本槍岳(那須町)	令和4年7月16日	1日(日帰り)	7名(2年生2名1年生5名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	学校出発(5:50) == 北温泉駐車場着(6:55)・・・北温泉出発(7:05)・・・マウントジーンズスキー場分岐(8:15)・・・スダレ山(9:25)・・・三本槍岳(10:05～昼食～11:00)・・・スダレ山(11:30)・・・Mtジーンズスキー場分岐(12:10)・・・マウントジーンズゴンドラトップで実習・昼食(12:25～実習～12:55)・・・北温泉着・入浴(13:25)・・・北温泉駐車場出発(14:40) == 学校着(15:45)	1名	なし	第6号	晴れ・曇り 0cm	事前の予報では、7/16(土)～7/18(月)は曇りや雨となっていた。雨の中の山行を経験するという目標をたて、木曜日から実施の方向で準備していた。7/16は予想に反して曇りときどき晴れで、無事に登頂できた。山頂に到着し10分ほど経つと雲が張り詰め、昼食後下山する頃には雨がぱらついてきた。カッパを着て下山し始めると間もなく雨もなくなり、北温泉に到着するまで曇り、ときどき雨だった。予定よりも早く着きそうだったことから、バスへの迎えの連絡をするためにマウントジーンズゴンドラトップを通過して下山することにした(マウントジーンズは携帯電話が通話可能)。前週に、ゴンドラトップでロープワークの実習を行っており、今回もロープワークの実習を行った。	①靴を忘れた生徒(1年生)がいた。 ②前週と同じ場所にヘビがいた。	①学校まで送迎してもらっている生徒で、サンダルで車に乗ってきた。学校に着いてから靴の忘れに気付いた。一旦家に戻り、現地(北温泉駐車場)で合流した。 ②ヘビの巣になっている模様。	①登山をする格好で車に乗り込む姿勢をつくるよう指導した。 ②ヘビについての学習はしているため、慌てず対処できた。	【問題なし】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日(始期)	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			積雪量(下段)	具体的内容	背景要因	改善策
17	栃木女子高等学校	令和4年度三年引退登山	日光白根山(日光市、群馬県利根郡片品村)	令和4年7月18日	1日(日帰り)	α5名 β5名 (それぞれ3年5名)	α2名 高橋秀明 森戸重臣 β2名 小椋康裕 池間明徳	栃女6:00→借上バス→日光白根ロープウェイ駐車場8:15→ロープウェイ→山頂駅9:00→七色平分岐9:50→白根山山頂12:00→七色平分岐13:40→山頂駅14:10→ロープウェイ→日光白根ロープウェイ駐車場出発16:00→借上バス→栃女18:10	α1名 β1名	両名とも 日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	両名とも 第2号 第6号	曇り 0cm	・天候不良であったため予備日である7月18日(月)の実施とした。 ・天候が不安定であったため、雨具等の雨対策を徹底するとともに、山行中の目視による天候確認及びSNSによる天候予報等の情報収集の徹底など、天候悪化への対策を行った。 ・熱中症対策として、水分や塩分を多めに持たせ、小休止した際に意識して摂取させた。 ・森林限界から山頂までは強風が予想できたため、風対策も徹底した。	なし	なし	なし	【問題なし】
18	宇都宮白楊高等学校	夏山登山	鳴虫山(日光市)	令和4年7月17日	1日(日帰り)	4名	2名 宇戸平友博 安江彩子	JR宇都宮駅(6:30)→JR日光駅(7:12)→鳴虫山登山口(7:50)→神ノ主山(8:40)→鳴虫山山頂(10:30着 11:00発)→独標(12:00)→憾満ヶ淵(13:15)→JR日光駅14:40	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第6号	曇り 0mm	実施日前まで雨天が続いており、当日の天候にも不安があったが、登山アドバイザーとこまめに協議をし、前日の天気予報で実施時間帯に問題がなさそうと判断し、実施した。当日朝は栃木県内では所々雨が降っていたが、日光市では降っておらず、所々青空も見られた。登山道も濡れていたが、歩行できる状況であり、気温も高くなり過ぎず、比較的快適な登山を実施することができた。また、登山が初経験の部員もいたため、細かな指導を徹底した。	下山し、日光第一発電所付近の登山口にて部員1名の手にはヒルがついているのを確認した。至急、取り除いたが血が吸われていた。そのほか生徒にもヒルがついていないか確認したところ、他部員の靴下に出血跡があり、ヒルが登山靴内に侵入し血を吸った模様であった。血を洗い流し、絆創膏等で応急処置を行った。幸いにもその後腫れたりすることはなかった。	ヒルが多く発生する場所というのは事前情報で把握していたため、顧問や登山アドバイザーの笹沼氏もヒル除けスプレーを持参しており、登山実施前に参加者全員にヒル除けスプレーを身体中に散布した。登山開始早々、ヒルが多く発生していることに気づき、登山靴にも付着していたため、改めて念入りにヒル除けスプレーを散布した。休憩時参加者同士で身体やザック等にヒルがついていないか確認し合っていた。しかし、ヒル除けスプレーの効果が薄まったことが原因か下山完了直後にヒルの被害を受けてしまった。	下山時もこまめにヒル除けスプレーを散布すれば、被害を防げた可能性がある。今後はヒルが発生しやすい場所においてはさらに注視して山行を行いたい。	【問題なし】
19	宇都宮高等学校	令和4年度社山登山	社山(日光市)	令和4年7月17日	1日	9名	4名 湯澤真一 富永孝昭 今井和彦 大和田哲也	宇高出発(6:50)→歌が浜駐車場(8:25)→狸窪(9:00)→半月峠(9:40)→中禅寺山頂(10:00)阿世湯峠(10:25)→社山雨量観測所(10:45)→社山山頂(11:40)→阿世湯峠(12:45)→阿世湯(13:00)→歌が浜駐車場(14:00)→宇高到着(15:30)	2名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ3	第2号 第6号	曇り時々 晴れ 0cm	前日までの雨の降り方によっては、登山道がぬかるんでいたり、木のステップが濡れて滑りやすくなっているだろうから、足の置き場所に注意すること。晴れ間が出ると、高所でも熱中症や脱水症に陥る危険性があるので、休憩は行動1時間につき10分間はとり、塩分を含め水分を休憩時に200cc程度は摂取すること。地形図やコンパスを用い、現在地を確認しながら行動すること。	腐った立木を掴もうとして、立木が簡単に倒れて、バランスを崩した生徒がいた。	立木はしっかりと根が張っていて、安定した手がかりになる、という思い込みによる。	掴んだり、体重を預けたりするような木の場合、確実な手がかりになるかどうか実際に揺さぶるなど確認してから、手がかりの支点として利用する。不安な場合には確実な支点にスリングを掛けるなどする。	【問題なし】
20	大田原高等学校	歩荷山行	朝日岳(那須町)	令和4年7月23日	1日(日帰り)	5名 (3年生1名 2年生1名 1年生3名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	学校出発(6:00) == 峠の茶屋(7:20) → 峠の茶屋(8:10) → 沼原温泉分岐(8:50) → 三斗小屋温泉(9:00)・温泉入浴・出発(9:50) → 隠居倉(10:45) → 朝日岳分岐(11:20) → 朝日岳(11:25) → 朝日岳分岐(11:35) → 峠の茶屋跡(11:55)・昼食・出発(12:40) → kokoshat(12:50) → 峠の茶屋(13:10) == 学校着(15:00)	1名	なし	第6号	晴れ・曇り 小雨 0cm	基本的に晴れだったが、場所によって雲に覆われたり、小雨がぱらついたりしていた。今回は歩荷と朝日岳登頂が目的であり、歩荷ではほとんどの生徒が10kg程度(一つだけ18kg)の荷揚げを行った。朝日岳分岐で昼食の予定だったが、風が強いため峠の茶屋跡で昼食をとることにした。コロナの中、宿泊ありの登山が行えない現状、あえて荷物をかけたことはよい経験になった。日頃の練習の成果もあり、無事に荷揚げと登頂を完遂できた。	無風の場所もあれば、最大瞬間風速15m/s(朝日岳分岐)のところもあるなど、場所によって風力はさまざまだった。	日本海側の風が吹き込み峠の茶屋跡や朝日岳分岐は風が強い。	事前に強風の予想や対策方法を共有しておいた。	【問題なし】
21	大田原高等学校	歩荷山行	朝日岳(那須町)	令和4年7月24日	1日(日帰り)	7名 (2年生3名 1年生4名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	学校出発(6:00) == 峠の茶屋(7:20) → 峠の茶屋(8:30) → 沼原温泉分岐(9:16) → 三斗小屋温泉(9:35)・温泉入浴・出発(10:20) → 隠居倉(11:05) → 朝日岳分岐(11:50) → 朝日岳(11:55) → 朝日岳分岐(12:00) → 峠の茶屋跡(12:20)・昼食・出発(12:55) → kokoshat(13:05) → 峠の茶屋(13:30) == 学校着(15:00)	1名	なし	第6号	晴れ・曇り 0cm	スタートから三斗小屋温泉までは晴れが多く、三斗小屋温泉から朝日岳は曇りがかかっていた。朝日岳分岐での瞬間最大風速は6m/s程度と最も高かった(前日より風は強くなかった)。生徒は10kg程度の荷物を運んだが、25kgのドライモルタルが二つあった。一つは、ドライモルタル専用のザックにして、それを生徒が交代しながら運んだ。重い荷物を持ち上げることやそれを運ぶことはなかなか経験することがないので、貴重な経験となった。(もう一つは顧問が運び、緊急時に生徒を担ぐかどうかを自問自答しながら運んだ)朝日岳分岐よりも峠の茶屋跡の方が天候が安定しているのが確認できていたため、峠の茶屋で昼食を摂ることにした。	荷物の交代時に必要以上の時間を費やされてしまい、前半の行動が予定よりも遅れてしまった。	歩荷という経験が初めてであり、また、25kgの重さが生徒の予想以上の重さだったことから会話に夢中になってしまった。	三斗小屋に物資を届けた後に、気持ちを入れ替えて登山を行うよう、意識の共有を図った。	【問題なし】
22	宇都宮白楊高等学校	夏山登山	太平山・晃石山(栃木市)	令和4年7月30日	1日(日帰り)	7名	2名 宇戸平友博 宇賀神瑞季	JR宇都宮駅6:33→JR太平下駅(7:34)→太平山登山口(8:00)→鎌信平(8:30)→太平山山頂(9:05)→晃石山山頂(10:00)→大中寺(11:40)→JR太平下駅(12:20)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第6号	曇り 0mm	1年生にとって2回目の登山であった、前回に教えたことが覚えているかを確認しながら実施した。前回の山よりもコースが短く、低山であったため余裕も見られた。	特になし	特になし	特になし	【問題なし】
23	栃木高等学校	令和4年度谷川岳登山	谷川岳(群馬県利根郡みなかみ町)	令和4年7月30日～8月1日	3日	1名	2名 野沢顕彦 加藤良栄	【7月30日】 栃木駅(14:13)→新前橋(15:31)→水上(17:50)→土合駅(17:58)→土合山の家(ホテル)(18:05) 【7月31日】 宿泊地発(7:00)→天神平駅(7:30)→天狗の留まり場(9:20)→肩ノ小屋(10:43)→トマの耳(10:50)→天狗の留まり場(12:00)→天神平駅(13:30)→宿泊地着(14:30) 【8月1日】 土合山の家(ホテル)→土合駅(8:40)→水上(9:00)→新前橋(10:48)→栃木駅(12:12)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第2号	晴れ 0cm	不安定な天候が予想されたため、アドバイザーの意見も参考にし、行きもロープウェイを利用した。また、早め早めの行動をした。	気温が高く熱中症のリスクがあった。	全国的な酷暑日であったため標高が高いにもかかわらず気温が高かった。	こまめな水分補給と休憩、疲れないようにゆっくり歩く。アドバイザーの意見をもらいながら柔軟に計画変更をする。	【問題なし】
24	宇都宮高等学校	令和4年度那須岳登山	那須岳【三本槍岳】(那須町)	令和4年7月31日	1日(日帰り)	9名	4名 湯澤真一 富永孝昭 今井和彦 大和田哲也	宇高(6:50)→那須岳登山口(8:50)→峰茶屋避難小屋(9:25)→朝日岳分岐(10:05)→熊見曾根(10:19)→清水平(10:37)→北温泉分岐(10:55)→三本槍岳山頂(11:20)→清水平(12:11)→熊見曾根(12:32)→朝日岳分岐(12:40)→峰の茶屋避難小屋(13:30)→那須岳登山口(14:05)→宇高(17:00)	2名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第6号	快晴 0cm 3/6	・気温が高くなるのが予想されたので、水分や塩分の補給、着衣の調整をこまめに行うこと。 ・持参したヘルメットは、着用しないときにはザックにしっかりと固定しておくこと。 ・注意すべき岩場の通過は三点支持を確実にし、経験のない生徒は経験者の間に入れて通過させること。 ・パーティの体力を考慮しつつ、歩行速度を速めて行動時間を短縮すること。	なし	なし	なし	【問題なし】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日(始期)	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件	積雪量(下段)		具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
25	栃木女子高等学校	令和4年度夏山登山	赤城山【黒檜山・駒ヶ岳】(群馬県桐生市、前橋市)	令和4年8月2日	1日(日帰り)	7名(2年生)	2名 小椋康裕 竹前陸	栃女7:00→→黒檜山入口9:35→→猫岩10:30→→駒ヶ岳分岐11:35→→黒檜山山頂11:40→→大タルミ13:05→→駒ヶ岳山頂13:35→→平場13:40→→駒ヶ岳入口14:20→→覚満淵入口14:25→→赤城山ビジターセンター15:00→→栃女17:00	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第2号第6号	晴れ0cm	事前の調査などから最初の急登が厳しいことがわかっていたので、丁寧な歩行とゆったりしたペースを心掛け、呼吸を整えるだけの休憩を多く入れた。それでも平均的なペースで活動できた。 熱中症対策として、水分や塩分を多めに持たせ、小休止した際などに意識して摂取させた。 前日など夕方雷雨が各地で発生していたため、山行中雨雲が発生していないか、予兆があるかなどアドバイザーと確認しながら歩いた。	なし	なし	なし	【問題なし】
26	宇都宮高等学校	令和4年度白根山登山	白根山【菅沼ルート】(群馬県片品村)	令和4年8月6日	1日(日帰り)	9名	4名 湯澤真一 富永孝昭 今井和彦 大和田哲也	宇高(6:55)→→菅沼登山口(9:00)→→弥陀ヶ池(10:45)→→白根山頂(11:55)→→五色沼(13:10)→→弥陀ヶ池(13:40)→→菅沼登山口(14:50)→→宇高(17:00)	2名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第6号	曇り時々晴れ0cm	・行動中は暑くなり多量の汗をかいたが、高山帯のため気温が低く、休憩中は汗冷えや風の影響で低体温症の恐れもあることから、着衣の調整はこまめに行うこと。 ・ヘルメットの着用時は、あごひもをしっかりと固定すること。 ・注意すべき岩場の通過は三点支持を確実にし、経験のない生徒は経験者の間に入れて通過させること。 ・岩場やザレ場の通過時は、落石に注意して歩行すること。	なし	なし	なし	【問題なし】
27	栃木女子高等学校	令和4年度一年生歓迎登山	社山・半月山(日光市)	令和4年8月8日	1日(日帰り)	4名(1年生)	3名 高橋秀明 池間明徳 竹前陸	栃女6:00→借上バス→歌が浜駐車場8:00→阿世湯9:00→阿世湯峠9:30→社山手前ピーク9:50→阿世湯峠10:00→半月峠11:00→半月山展望台12:00→半月山12:10→半月山展望台12:20→12:40→半月山駐車場13:00→借上バス→(日光の温泉施設)13:50→14:50→栃女16:30	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第2号第6号	晴れのち曇り0cm	・一年生にとって初めての登山であったため、顧問3人に対応した。 ・阿世湯から阿世湯峠まで工事箇所があったため、アドバイザー及び工事関係者の助言のもと慎重に行動した。 ・熱中症対策として、水分や塩分を多めに持たせ、小休止した際などに意識して摂取させた。 ・体力面や天候面について考慮した結果、社山は山頂まで行かず途中のピークで引き返し、下山地点も中禅寺湖展望台駐車場からエスケープルートである半月山駐車場へ変更した。	なし	なし	なし	【問題なし】
28	大田原高等学校	那須山行	黒尾谷岳・南月山・白笹山(那須町)	令和4年8月20日	1日(日帰り)	7名(2年生3名1年生4名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	保護者送迎車で南が丘牧場駐車場集合(6:45)→→登山口(7:25)→→黒尾谷岳(8:35)→→南月山到着(9:50)(昼食)→→南月山出発(10:30)→→白笹山(11:05)→→沼原温泉駐車場(12:10)現地解散	1名	なし	第6号	晴れ・曇り0cm	天気予報では夕方から雨の可能性もあったため、予定時間を目安にしつつ、迅速に行動した。予定時間よりも1時間以上早く山行を終えたが、山行直後から雨が降り出し、結果的には良い終わり方をした。黒尾谷岳の登山口は非常にわかりづらい場所であったため、南が丘牧場駐車場に集合することにし、時間に遅れることなく集合できた。	①地図を忘れた生徒が1名いた。 ②ぬかるみで滑った。	①登山にまだ慣れない生徒で、前日(学校)での最終チェックでは持っていたが、家に置き忘れてしまった。 ②全体的に湿っており、湿度は90%を超えるところもあった。	①まずは慣れていくこと。 ②とりえず滑ったものの、滑ることはあり得ると考えていたため、怪我や事故につながることはなかった。滑りやすい箇所ではよく声を回すことができていた。	【問題なし】
29	大田原高等学校	那須山行	黒尾谷岳・南月山・白笹山(那須町)	令和4年8月21日	1日(日帰り)	5名(2年生1名1年生4名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	保護者送迎車で南が丘牧場駐車場集合(6:45)→→登山口(7:20)→→黒尾谷岳(8:40)→→南月山到着(9:50)(昼食)→→南月山出発(10:40)→→白笹山(11:10)→→沼原温泉駐車場(12:20)現地解散	1名	なし	第6号	晴れ・曇り0cm	山行当日は、時折雲が発生していたが、概ね晴れていた。黒尾谷岳の登山口はわかりづらい場所であったため、南が丘牧場駐車場に集合することにし、時間に遅れることなく集合できた。南月山から白笹山へのルートでは樹高が低い(頭部に枝等があたりやすい)ため、ヘルメットを着用して下山した。また、白笹山ルートは他よりもゴミが目立ち、ゴミ袋に回収しながら下山した。	①ぬかるみで滑った。	①前日が雨、そして湿度が80~95%だった。特に白笹山付近はぬかるみが多かった。	①とりえず滑ったものの、滑ることはあり得ると考えていたため、怪我や事故につながることはなかった。滑りやすい箇所ではよく声を回すことができていた。	【問題なし】
30	宇都宮白楊高等学校	夏山登山	男体山(日光市)	令和4年8月27日	1日(日帰り)	A隊6名	A隊2名 宇戸平友博 宇賀神瑞季	宇都宮白楊高校(6:00)→日光二荒山神社(7:10)→男体山登山口(7:30)→3合目(8:15)→4合目(8:40)→8合目(10:20)→男体山山頂(11:15着 11:50発)→8合目(12:30)→4合目(14:00)→二荒山神社(15:05)→宇都宮白楊高校(17:00)	A隊1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第6号	晴れのち曇り0mm	過去の山行の中でも難易度が高い山であるため、細かなミーティングをするなどトレニングも徹底し、入念な準備を心掛けた。	生徒1名が下山途中で疲労が見られ、他メンバーよりも足取りが遅くなっており、6合目休憩時に時折軽い吐き気がするという申し出があった。脱水症状も考えられたため、経口補水液および塩分の補給を行い、歩行は可能であるため、様子を見ながら山を継続した。こまめな休憩を入れながら、荷物をパーティー内メンバーで分散して、本人ができるだけ負担がかけられないよう下山を行った。徐々に回復していったようで、下山完了時には特に問題なく吐き気等もなくなったとのことであった。	元々は部内でも体力がある方の部員であったが、進路等の多忙も重なっての疲労もあった可能性がある。難易度の高い山であり長時間の登山であったため、普段よりもゆったりとしたペースを心掛け、こまめな休憩を取っていた。また、標高が高く、比較的に涼しい条件であり、WBGT計の数値も高くなかったが、症状が現れてしまった。	今回は軽度の症状のうちに対応でき、本人も歩行が可能であったため荷物を軽減するなどして事なきを得た。しかし、症状が重く本人が歩行も難しい場合には対象者を背負っての救急搬送も必要である。そのため、普段の部活動においてセルフスキュー方法について生徒に学習させることも不測の事態に対応できて良いのではないかとアドバイザーをいただいたため、実践していきたい。	【問題なし】
						B隊5名	B隊2名 安江彩子 齋藤靖弘	宇都宮白楊高校(6:00)→日光二荒山神社(7:10)→男体山登山口(7:40)→3合目(8:30)→4合目(8:50)→8合目(10:40)→男体山山頂(11:30着 12:10発)→8合目(12:50)→4合目(14:30)→二荒山神社(15:30)→宇都宮白楊高校(17:00)	B隊1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第6号	引率教諭1名が下山完了間際となる2合目通過後、歩行は可能であったが疲労蓄積によって膝に力が入りづらい状態となった。負担を減らすため、登山アドバイザーの増淵氏が該当者分のザックを背負い、下山した。それから順調なペースであったが、2合目から麓までの所要時間が目安タイムよりも長い時間を費やした。下山終了後、冷却スプレー等で応急手当をした。	長時間行動による疲労蓄積が原因と考えられる。	引率教諭は生徒よりも登山経験があるが、年齢を重ねているため、身体へのダメージを受けやすく、怪我のリスクもある。そのため、生徒同様に顧問も入念な準備とケアを心掛けて、怪我のリスクを抑えていく必要がある。	【問題なし】		
31	宇都宮高等学校	令和4年度赤薙山登山	赤薙山(日光市)	令和4年9月18日	1日(日帰り)	4名	3名 湯澤真一 今井和彦 大和田哲也	宇高(6:50)→→鶴田駅(7:05)→日光駅(7:44)→→キスゲ平(8:15)→→小丸山(9:05)→→焼石金剛(9:31)→→赤薙山頂(10:01)→→小丸山(11:05)→→キスゲ平レストハウス(11:35)→→日光駅(13:10)→→鶴田駅(13:55)→→宇高(14:05)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	雨・風やや強し0cm	・登山開始時から台風の影響による降雨が降り、丸山は経由せず直接に赤薙山頂を目指し、奥社跡には向かわずに下山することとした。(引率顧問およびアドバイザーで相談のうえ決定し、教頭に報告。) ・体が雨に濡れ、風に吹かれると低体温症の恐れもあることから、出発前に雨具装備を入念に確認した。 ・粘土を含む土は雨により滑りやすくなっているため、足の置き方や置く位置に注意すること。	尾根道を歩行中に、やや強い風が吹き、生徒1名の帽子が谷へ吹き飛ばされてしまった。	台風に吹き込む西乃至南よりの風の影響があり、瞬間的に体感で風速10m程の突風が吹いた。	・頑ひものない帽子を被っていたため、瞬間的な強風で吹き飛ばされた。帽子クリップで止めたり、雨具の下に帽子を被るなどすればよかった。ザックのレインカバーなども装着方法の確認を行いたい。	【問題なし】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日(始期)	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
32	宇都宮高等学校	令和4年度 鳴虫山登山	鳴虫山(日光市)	令和4年9月25日	1日(日帰り)	5名	2名 湯澤真一 大和田哲也	宇高(6:50)・鶴田駅(7:05)・日光駅(7:44)・登山口(8:15)・神ノ主山(8:54)・鳴虫山(9:55)・独標(11:04)・やしおの湯分岐(11:30)・やしおの湯(11:50)・日光駅(14:19)・鶴田駅(14:55)・宇高(15:05)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ3	第1号	曇り時々晴れ 0cm	・24日(土)は台風の影響による荒天のため、代替日の25日(日)に実施することに決定。アドバイザーにも意見を求め、教頭にも相談した上で決定。 ・鳴虫山は蛭が多く生息し、吸血される事例が多発していることから、ディート成分を含む虫除けを登山靴に塗布するとともに、休憩時にはザックや周囲のメンバーに蛭が付いていないか入念に確認させた。 ・濡れた木の根は大変滑りやすく、なるべく足を置かないことや置く場合の位置に注意すること。	特になし。	特になし。	特になし。	【問題なし】
33	大田原高等学校	錦秋山行	三本鎗岳(那須塩原市)	令和4年10月15日	1日(日帰り)	5名 (2年生3名 1年生2名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	北温泉駐車場出発(6:50)・北温泉(6:55)・スキー場分岐(8:00)・赤面山分岐(9:15)・北温泉分岐(9:35)・三本鎗岳(10:00-昼食-11:10)・北温泉分岐(11:35)・赤面山分岐(11:50)・スキー場分岐(12:40)・マウントジーンズゴンドラトップ(13:00-実習-13:55)・北温泉(14:30)・現地解散	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ・曇り 0cm	当日、生徒1名が微熱により欠席した。紅葉のシーズンであるため、人の往来が多かった。隊がばらばらにならないように合流地点を決め、無線を活用しながら隊の分裂防止を心掛けた。復路では、トイレがあるゴンドラトップを経由して下山した。ゴンドラトップではトイレ休憩の他、ロープワーク実習なども行った。	調査研究に用いる風力計の電力がなかった。	電源オンのチェックまでしていなかった。	機器は電源を付けるまで、チェックをしておく。	【問題なし】
34	大田原高等学校	紅葉狩り山行	日の出平・姥ヶ平・三斗小屋温泉(那須町)	令和4年10月16日	1日(日帰り)	7名 (2年生2名 1年生5名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	沼ッ原湿原駐車場出発(7:20)・日の出平登山口(7:50)・日の出平(9:20)・牛ヶ首(9:40)・姥ヶ平(10:00)・姥ヶ平下(10:30)・三斗小屋温泉(11:20-昼食-12:20)・姥ヶ平下(13:05)・日の出平登山口(13:45)・沼ッ原湿原駐車場(14:05)・現地解散	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ・曇り 0cm	沼ッ原湿原駐車場は朝7時の時点でほぼ満車である通り、紅葉狩りに訪れた人は相当数だった。出発前後は曇りだったが、途中から雲海の上を歩く感じになり、快晴になり、絶好の紅葉狩りになった。予定通り、三斗小屋温泉に荷揚げし、無事に下山した。	人が多く、予定時間をオーバーした。	紅葉狩りで人が混雑していたため。	できるだけ早めに行動する。	【問題なし】
35	宇都宮高等学校	令和4年度 岩山安全登山講習会	岩山(鹿沼市)	令和4年10月22日	1日(日帰り)	6名	2名 湯澤真一 今井和彦	宇高(7:25)・鶴田駅(7:44)・鹿沼駅(7:53)・鹿沼西中入り口(8:20)・日吉神社(8:30)・三番岩(8:55)・セルフレスキュー講習(10:45)・山頂(12:05)・鉄はしこ設置斜面付近で危険斜面下降訓練(13:45~14:30)・日吉神社(15:10)・鹿沼西中入り口(15:21)・鹿沼駅(15:47)・鶴田駅(15:55)・宇高(16:05)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇り 0mm	・アドバイザーからの意見により、個人装備で持参するスリングを120cmを2本、安全環付きカラビナの枚数を2枚に増やした。 ・岩場の通過は、登山靴のソールの摩擦をよく効かせ、三点支持を意識すること。 ・クライムダウン時には、足の着地する地点をよく目視して確認しながら降下すること。 ・岩場の表面が摩擦した箇所は滑りやすいので、ソール全体で着地し十分にフリクションを効かせること。	特になし	特になし	特になし	【次回登山計画審査会にて審議】
36	宇都宮白楊高等学校	秋山登山	赤薙山(日光市)	令和4年10月29日	1日(日帰り)	5名	2名 宇戸平友博 安江彩子	JR宇都宮駅(7:30)・JR日光駅(8:30)・霧降高原キスゲ平園地(9:30)・小丸山(10:20)・赤薙山山頂(11:30)・小丸山(12:40)・霧降高原キスゲ平園地(13:10)・JR日光駅(14:30)・JR宇都宮駅(15:30)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第6号	晴れ 0mm	秋山ということもあり、肌寒い中での登山が予測されたため、防寒着等についてはいつもよりも多めの種類を持参させて、体温温度に応じて着衣を要するよう指示した。	特になし	特になし	特になし	【次回登山計画審査会にて審議】
37	栃木女子高等学校	令和4年度1年読図トレーニング登山	太平山(栃木市)	令和4年11月12日	1日(日帰り)	4名 (1年生)	3名 高橋秀明 小椋康裕 森戸重臣	栃女10:10・貯水タンク10:35・162mピーク11:50・太平山頂12:40・太平山神社13:00~13:45・あじさい坂下14:05・栃女14:40	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第2号 第6号	晴れ 0mm	事前の下見によって道が不鮮明な所がいくつかあることがわかってきたため、周囲の地形を感じとることで現在位置を確認しながら、迷いそうなポイントではコンパスを有効活用し、また引率者はGPSも駆使しながら歩き、効果的に読図のトレーニングを行うことができた。	特になし	特になし	特になし	【次回登山計画審査会にて審議】
38	大田原高等学校	低山山行	関山(福島県白河市)	令和4年11月12日	1日(日帰り)	11名 (2年生4名 1年生7名)	3名 高梨和幸 片柳剛史 鈴木長生	JR西那須野駅(7:30集合7:37出発)・JR・JR黒磯駅乗換え(7:49-7:54)・JR・JR新白河駅到着(8:18)ランニング出発(8:40)・ランニング-関山登山口到着(9:20)登山開始9:50-阿夫利神社(10:15)-満願寺(10:30)-関山山頂(10:35)-金明水(11:00)-関山登山口(10:35)-ランニング-南湖森林公園到着11:10実習・昼食・解散(12:20)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0mm	欠席生徒が2名(発熱1名、通院1名)おり、11名での実施。ランニング、登山、ロープワーク実習等、予定通り実施した。	前日に装備品のチェックをしていたにも関わらず、手袋を忘れた生徒が3名いた。	ランニング等のトレーニングという気の緩み等があったかもしれない。	注意喚起を行った。	【次回登山計画審査会にて審議】

■中止となった登山計画

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日 (始期)	日数	参加 生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			実施結果	備考
									人数	資格	要件		
1	栃木女子 高等学校	令和4年度 秋山登山①	朝日岳・茶臼岳 (那須町・那須塩原市)	令和4年 9月18日	1日 (日帰り)	α隊 7名 β隊 7名	α隊 高橋秀明 竹前睦 β隊 小椋康裕 池間明德	栃女→借上バス→標高1462m駐車場… 峠の茶屋跡…朝日岳…峠の茶屋跡… 茶臼岳…山頂駅～那須ロープウェイ～ 山麓駅→温泉施設→栃女	2名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ2 日本山岳ガイド 協会認定登山 ガイドステージⅡ	第1号 第4号	中止	【中止の理由】 ・台風接近のため。 ・顧問都合のため。
2	宇都宮 白楊 高等学校	夏山登山	朝日岳・茶臼岳 (那須町・那須塩原市)	令和4年 9月23日	1日 (日帰り)	3名	2名 宇戸平友博 宇賀神瑞希	JR宇都宮駅…JR那須塩原駅＝ 那須ロープウェイ山麓駅(登山口)… 峠の茶屋…峠の茶屋跡(避難小屋)… 朝日岳ノ肩…朝日岳…朝日岳ノ肩… 峠茶屋跡(避難小屋)…茶臼岳… 那須ロープウェイ山頂駅＝ 那須ロープウェイ山麓駅＝ JR那須塩原駅＝JR宇都宮駅	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	中止	【中止の理由】 ・台風接近のため。
3	大田原 高等学校	県外山行	安達太良山 (福島県二本松市)	令和4年 9月24日	1日 (日帰り)	7名	2名 高梨和幸 片柳剛史	学校＝塩沢登山口…八幡滝… くろがね小屋…牛の背…安達太良山… 仙女平分岐…ゴンドラ分岐… スキー場奥岳の湯…学校	1名	日本山岳ガイド 協会認定登山 ガイドステージⅡ	第4号	中止	【中止の理由】 ・台風接近のため。
4				令和4年 9月25日	1日 (日帰り)	6名	2名 高梨和幸 片柳剛史		1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	中止	【中止の理由】 ・台風接近のため。
5	栃木女子 高等学校	令和4年度 登り納め登山	筑波山 (茨城県つくば市)	令和4年 12月17日	1日 (日帰り)	14名	4名 高橋秀明 竹前睦 小椋康裕 池間明德	栃女→→薬王院登山口…道標… 男体山御本殿…女体山御本殿…つつじヶ丘駅… ケーブルカー登山口→→ 栃	2名	両名とも 日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	中止	【中止の理由】 ・天候不良のため。 ・生徒都合のため。